

水性接着剤 Fast Tack 1000NF (Neutral、Purple)

■特長

Fast Tack 1000NF は、水性接着剤です。

スプレー塗布可能で、1液型でありながら接着力の立ち上がり早い^(注1)のが特長です。

片面塗布でも接着が可能です。^(注2)

(注1) 厚さ5mm 密度45kg/m³のウレタンフォームの場合、25℃環境下オープンタイム1分で貼り合せた後、約15分で材料破壊になる強度まで接着力が立ち上がります。

(注2) 被着体が薄いウレタンフォーム等の軽量物の場合

■物性(注:以下の数値は代表値であり規格値ではありません)

基 材	アクリル樹脂
粘 度*	400~1100mPa·s
色	白(Neutral)、薄紫色(Purple)
不揮発分	約49%
比 重	約1.0
引火点	なし
pH	4.5~6.5
接着可能時間	1分~5分 (@25℃)
塗布可能面積	約17m ² /L(塗布量:ウェット時約60g/m ²)

*:B型粘度計 RVF #3スピンドル 30rpm

注:接着可能時間は、環境温度や塗布量によって変化します。事前にテストしてご使用ください。

■適用

ウレタンフォーム、木、合板、パーティクルボード、布、アルミニウム、亜鉛メッキ鋼板、プラスチックなどの接着

(注意)

- 被着材の少なくとも一方は、水が蒸発できる多孔質な材料である事が必要です。
- 無地の鋼板表面の接着には適しません。表面処理または塗装された鋼板の場合は、さびの発生の有無や接着強さを使用前にご確認ください。
- 接着剤が光に直接あたるような用途に使用すると変色が起こる事があります。
- 被着材が薄い布の場合、接着剤が染み込む事があります。

■接着特性

せん断接着強さ

被着体	測定温度	せん断接着力 (MPa)
木/木(カバ材)	25℃	2.0
	80℃	0.4

破壊モードは接着剤の凝集破壊

はく離接着強さ

被着体	180 度はく離接着強さ (N/cm)	破壊モード
木(カバ材)／綿布	28	接着剤の凝集破壊
ポリプロピレン／綿布	4	被着体の界面破壊
ポリエチレン／綿布	2	被着体の界面破壊

■ 使用法

1. **表面処理:** 清浄で乾いた面にのみ使用して下さい。接着面が油、グリース、離型剤などで汚れている場合は、接着力が低下する場合があります。
2. **塗布:** 接着剤を使用前に攪拌する必要はありません。ミスト状のスプレーが得られるように塗布器を調整して下さい。塗布器を被着材から30cm程度離して、接着する両面に均一に塗布して下さい。薄いウレタンフォーム等の軽量物の場合は、片面塗布が可能です。
3. **標準塗布量:** ウェット時に約 60g/m² となるように塗布して下さい。塗布量は被着材の種類、表面状態、要求される強度によって変わります。用途毎に最適な塗布量を確認して下さい。
4. **接着可能時間:** フォーム／フォームの接着であれば塗布後約 1 分で接着する事ができます。接着直後から仮固定が可能です。フォームもしくは布をプラスチックや金属の様に非多孔質な表面のものに接着する場合は、さらに長い時間が必要になります。温度、湿度により異なりますが、塗布後5分以内に貼り合わせて下さい。塗布後しばらくすると、接着剤表面に、粘着剤のようなタック(べたべたした状態)が発現してきます。タックが発現している間に貼り合せてください。乾燥するとタックが弱くなり貼り合せ出来なくなるので注意してください。

注) ウェット時に約 60g/m² 以上塗布した時、スプレーパターンが粗い時は接着できるまでの時間が長くなります。

5. **貼り合わせ:** 貼り合わせ時は、充分に加圧して下さい。
6. **洗浄:** 接着剤が乾く前は、水または少量の3Mクリーナー30等の洗浄剤と水で洗浄できます。乾燥した接着剤はクリーナー30とワイヤーブラシ、スコッチブライトなどを使用して洗浄して下さい。フォームや布の様な多孔質な表面の場合、乾いた接着剤を洗浄する事はできません。

注意) 有機溶剤を使う時は、炎や火気の近くで使わないで下さい。有機溶剤の 指示書にしたがって下さい。

■ 保管方法

- 凍結厳禁
- 5~35°Cで保管して下さい。
- 接着剤は使用しない時は密栓して下さい。

■ 注意事項

- 目を刺激する事があります。
- 眼に入った場合は、直ちに水で数分間注意深く洗ってください。コンタクトレンズが容易に外せる場合は外して、洗浄を続けてください。眼の刺激が続く場合は、医師の診断を受けて下さい。
- 取り扱い後は、手指を良く洗ってください。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。

●<3M>は、3M社の商標です。

スリーエム ジャパン株式会社

テープ・接着剤製品事業部

〒141-8684

東京都品川区北品川6-7-29

<http://www.mmm.co.jp/tape-adh/>

Please Recycle. Printed in Japan

© 3M 2009. All rights reserved

IND-DS-